



令和元年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和元年8月9日

上場会社名 極東産機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6233 URL <https://www.kyokuto-sanki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和元年9月期第3四半期の業績（平成30年10月1日～令和元年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年9月期第3四半期	6,342	△3.2	87	△70.4	61	△77.3	32	△81.2
30年9月期第3四半期	6,553	—	296	—	271	—	171	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年9月期第3四半期	6.00	—
30年9月期第3四半期	40.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
元年9月期第3四半期	7,813	2,589	33.1
30年9月期	7,962	2,573	32.3

(参考) 自己資本 元年9月期第3四半期 2,589百万円 30年9月期 2,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
元年9月期	—	0.00	—		
元年9月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和元年9月期の業績予想（平成30年10月1日～令和元年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	2.1	334	△21.1	295	△22.6	196	△35.2	36.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	元年9月期3Q	5,391,000株	30年9月期,	5,235,000株
② 期末自己株式数	元年9月期3Q	一株	30年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	元年9月期3Q	5,374,428株	30年9月期3Q	4,235,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や公共投資が持ち直したものの、外需や住宅着工戸数等は引き続き低調に推移して、当社にとりまして厳しい経営環境となりました。

このような環境の中で、各セグメントにおいて様々な施策を実施してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高6,342百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益87百万円(同70.4%減)、経常利益61百万円(同77.3%減)、四半期純利益32百万円(同81.2%減)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業部門は、7月1日発刊予定の業務用カタログNO.15（商品約4,550点うち新商品900点を掲載）とカタログの発刊に合わせて投入する新型糊付機を準備いたしました。内装施工工具等の新商品につきましては発刊前の先行PRにより販売が好調に推移しましたが、主力の糊付機の売上は、発売前の新型糊付機への期待感から、逆に伸び悩みました。畳事業部門は、畳製造装置の販売において、中小企業庁が実施する「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」を申請した事業者の採択結果が6月末に発表され、申請された事業者の多くが採択されましたので、7月以降の売上に期待できることとなりましたが、当第3四半期累計期間においては、同補助金の結果待ちの状況となり、売上が停滞いたしました。その結果、セグメント売上高は4,731百万円(前年同期比0.2%減)となり、損益につきましては、糊付機販売が低調であったことや、送料の値上がりによる運送費の上昇等の経費の増加により、営業損失10百万円(前年同四半期は営業利益55百万円)となりました。

②コンシューマセグメント

コンシューマ事業部門は、株式上場による知名度向上を追い風に、楽天市場「ニュー畳ライフ」での個人向け売上が引き続き好調を維持したほか、特殊機能畳の売上も順調に推移しましたが、棺用畳は競争が激化したことなどから売上が伸び悩みました。ソーラー・エネルギー事業部門は、電力買取価格低下の影響はあったものの、長引いていた設備設置の許認可が進み、売上が進捗いたしました。メガソーラー発電事業は順調に稼働しております。その結果、セグメント売上高は743百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は9百万円(同42.3%減)となりました。

③インダストリーセグメント

産業機器事業部門は、受注案件を予定通り売上することができました。また、当期受注計画案件につきましても、予定通り受注を確定させることができました。食品機器事業部門につきましては、大手飲食チェーン等の省力化ニーズは引き続き活発で順調な受注状況であり、売上も予定通り進捗いたしました。その結果、セグメント売上高は866百万円(前年同期比23.1%減)となり、損益につきましては、新規開発機種中心の受注であったことから、営業利益は87百万円(同60.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ149百万円減少し、7,813百万円となりました。資産のうち、流動資産は、たな卸資産が285百万円増加しましたが、現金及び預金が294百万円減少、受取手形及び売掛金が144百万円減少したこと等により、175百万円の減少となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が29百万円増加、無形固定資産及び投資その他の資産が合計で3百万円減少したことにより、25百万円の増加となりました。

②負債の部

当第3四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ165百万円減少し、5,223百万円となりました。負債のうち、流動負債は、未払法人税等及びその他(未払消費税等、前受金)がそれぞれ減少したこと等により、86百万円の減少となりました。固定負債につきましては、長期借入金が減少したこと等により、78百万円の減少となりました。

③純資産の部

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ15百万円増加し、2,589百万円となりました。資本金が29百万円、資本剰余金が29百万円それぞれ増加しましたが、利益剰余金が20百万円の減少、その他有価証券評価差額金が22百万円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年9月期の業績予想につきましては、平成31年4月26日に公表いたしました「平成31年9月期の業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年9月30日)	当第3四半期会計期間 (令和元年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,555,108	1,260,378
受取手形及び売掛金	2,179,362	2,035,232
電子記録債権	600,844	539,803
商品及び製品	497,887	677,927
仕掛品	229,858	314,546
原材料及び貯蔵品	193,009	214,100
その他	22,282	60,902
貸倒引当金	△11,467	△11,025
流動資産合計	5,266,886	5,091,865
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,377,378	1,408,551
その他（純額）	897,682	895,536
有形固定資産合計	2,275,061	2,304,087
無形固定資産		
投資その他の資産	27,837	34,403
その他	395,929	385,321
貸倒引当金	△3,164	△2,211
投資その他の資産合計	392,764	383,110
固定資産合計	2,695,663	2,721,601
資産合計	7,962,550	7,813,467
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	997,357	1,051,527
電子記録債務	923,328	975,681
短期借入金	1,248,752	1,245,008
1年内返済予定の長期借入金	167,502	167,502
未払法人税等	79,613	—
賞与引当金	160,000	185,000
役員賞与引当金	12,920	7,000
その他	384,888	256,266
流動負債合計	3,974,361	3,887,985
固定負債		
長期借入金	839,082	720,036
退職給付引当金	258,577	261,604
役員退職慰労引当金	280,300	298,000
その他	36,367	56,040
固定負債合計	1,414,327	1,335,680
負債合計	5,388,688	5,223,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,050	631,112
資本剰余金	452,000	481,062
利益剰余金	1,450,143	1,430,040
株主資本合計	2,504,193	2,542,215
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	69,668	47,585
評価・換算差額等合計	69,668	47,585
純資産合計	2,573,862	2,589,801
負債純資産合計	7,962,550	7,813,467

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年10月1日 至令和元年6月30日)
売上高	6,553,716	6,342,199
売上原価	4,499,477	4,426,155
売上総利益	2,054,238	1,916,044
割賦販売未実現利益戻入額	4,078	2,996
差引売上総利益	2,058,317	1,919,041
販売費及び一般管理費	1,762,130	1,831,422
営業利益	296,186	87,618
営業外収益		
受取利息	112	271
受取配当金	3,828	3,704
スクラップ売却益	2,787	2,170
その他	6,420	5,950
営業外収益合計	13,148	12,096
営業外費用		
支払利息	18,645	16,524
手形売却損	4,985	1,981
売上割引	13,610	13,573
新株発行費	—	2,317
その他	441	3,767
営業外費用合計	37,682	38,164
経常利益	271,652	61,550
税引前四半期純利益	271,652	61,550
法人税、住民税及び事業税	114,929	33,269
法人税等調整額	△14,617	△3,966
法人税等合計	100,311	29,303
四半期純利益	171,340	32,246

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年10月30日付で、SMB C日興証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が29百万円、資本剰余金が29百万円それぞれ増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が631百万円、資本剰余金が481百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	
売上高	4,739,082	687,348	1,127,284	6,553,716
セグメント利益又は損失(△)	55,509	17,335	223,342	296,186

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間（自 平成30年10月1日 至 令和元年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	
売上高	4,731,582	743,701	866,915	6,342,199
セグメント利益又は損失(△)	△10,033	9,999	87,652	87,618

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。